

# まちづくり交付金 事後評価シート

いわじゅくいせきしゅうへんちく  
岩宿遺跡周辺地区

平成21年12月

群馬県みどり市

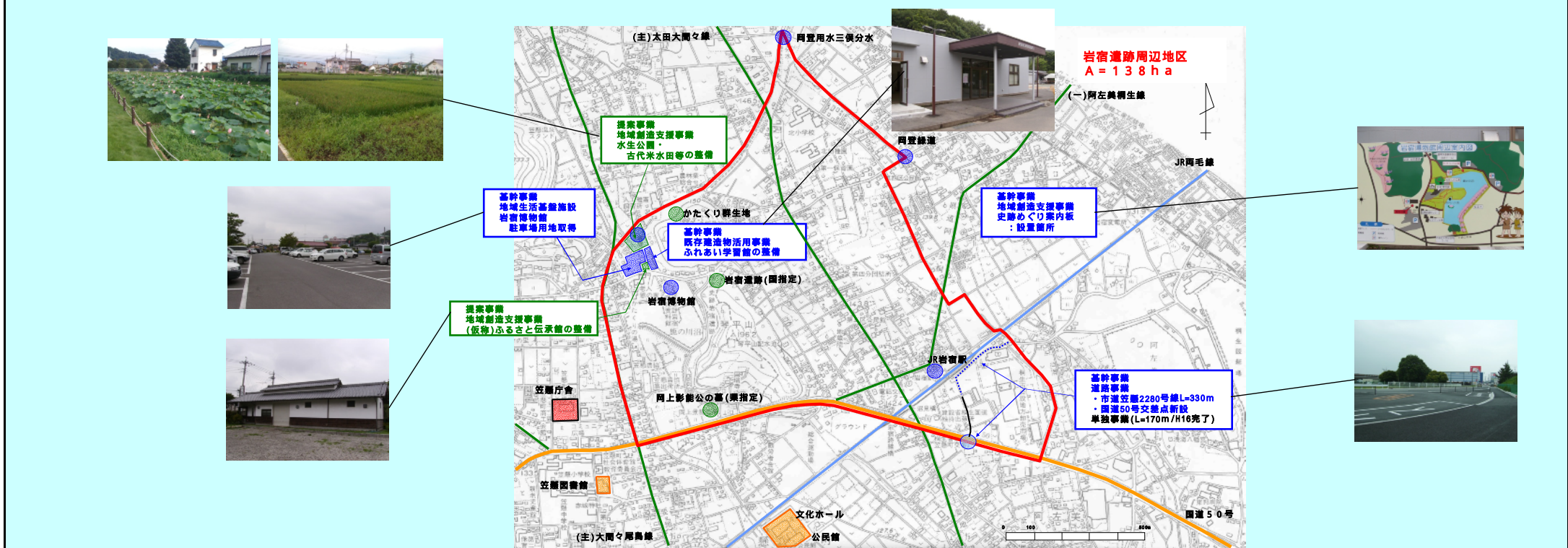
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県		市町村名	みどり市(旧笠懸町)		地区名	岩宿遺跡周辺地区			面積	138ha		
交付期間	平成18年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年4月～平成22年3月		交付対象事業費	345 百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道笠懸2280号線)、地域生活基盤施設(岩宿博物館駐車場、史跡めぐり案内板)、既存建造物活用施設(ふれあい学習館)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(水生公園・古代米水田等の整備、既存民間施設の買収及び改修)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業										
			提案事業										
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1-1	ふれあい学習館の利用者数	人/年	500	H16	3,000	H21	モニタリング	評価値	4,350	あり なし	ふれあい学習館の整備に伴い、体験学習、岩宿探検隊等の実施場所の移設が順調に行われ、利用者数が増加した。	平成22年4月
	指標2	通勤時間帯における岩宿駅南口利用割合	%	6	H17	30	H21	9	あり なし	市道拡幅と南口整備により、利用割合が増加した。	平成22年11月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	市道笠懸2280号線の拡幅整備により、岩宿駅南口利用者の通行安全性が確保できるとともに防犯上の改善を図ることができたほか、周辺の商業施設の進出にも寄与している。また、岩宿駅南口乗降スペースの整備とあわせ、市の玄関口としてのイメージアップが図られている。岩宿遺跡周辺への施設整備等により、体験学習事業等への参加者が増加し、施設及び施設周辺ににぎわいを創出できた。またそれに伴い、市民が地域資源である岩宿遺跡や岩宿時代に興味や愛着をもつ機運が高まっている。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス		「岩宿の里に古代米を栽培する会」H20.1.16から本会議6回、準備委員会2回を開催し、古代米水田整備、整備後の事業方法についての検討を行っている。構成メンバーは、岩宿博物館友の会、かさかけ郷土史会、鹿の川水利組合会員。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		古代米栽培体験事業の実施結果等を評価するため、本会からの意見聴取を継続的に実施する。			
持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2 - 2 地区の概要

### 岩宿遺跡周辺地区(群馬県みどり市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
メインテーマ: 歴史的資源の有効活用によるにぎわいの創出と安全で快適な環境の整備 目標1: 岩宿遺跡を中心とする歴史的資源を有効活用し、岩宿時代をトータルで体験できるような体制づくりを行う 目標2: 遺跡来訪者はもとより、そこで暮らす人達にも良好な環境の整備を図る	ふれあい学習館の利用者数	単位: 人/年	500 H16	3,000 H21	4,350 H21
	古代米栽培への参加者数	単位: 人/年	80 H16	160 H21	411 H21
	岩宿駅南口利用割合(通勤時間帯)	単位: %	6 H17	30 H21	9 H21



**まちの課題の変化**

- 岩宿遺跡周辺への施設整備等により、体験学習事業等への参加者が増加し、施設及び施設周辺ににぎわいを創出できた。この効果を持続させるため、ふれあい学習館を体験事業の核施設とし、岩宿遺跡、岩宿博物館等の施設との横断的な利活用の促進を図っていく必要がある。
- 駅北口の交通緩和のため、本事業により施設整備できた南口への利用者誘導と市道笠懸2280号線の整備を波及させた市南部地区のまちづくりをすすめる。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

岩宿時代をトータルで体験できる事業の拡充

- 岩宿博物館周辺地区の施設を横断的に利活用し、岩宿時代をトータルで体験できる事業等ソフト面の拡充を図る。
- 市外学校関係者への広報を図り、新たな参加校の受入を推進する。

岩宿駅北口の交通緩和のための南口への利用者誘導

- 市道笠懸2280号線の利用促進のためのPRを図るとともに、駅南口の機能強化につながる整備事業についての検討を行う。

市南部地区のまちづくり推進

- 市道笠懸2280号線の整備を波及させ、市の南北地区の一体化や駅南口への商業施設の充実など、南口の活力を高める方策を検討し、都市計画マスタープランの計画と連動性を持たせ、一体的な地区のにぎわいづくりを進める。